

オルカンの利回り平均は？過去実績と向いている人・向いていない人を解説



※トータル文字数:5,125文字(タイトル、見出し名は除き)

オルカンの利回り平均は？過去実績と向いている人・向いていない人を解説

- 「オルカンって何？」
- 「利回りの平均や実績を知りたい！」

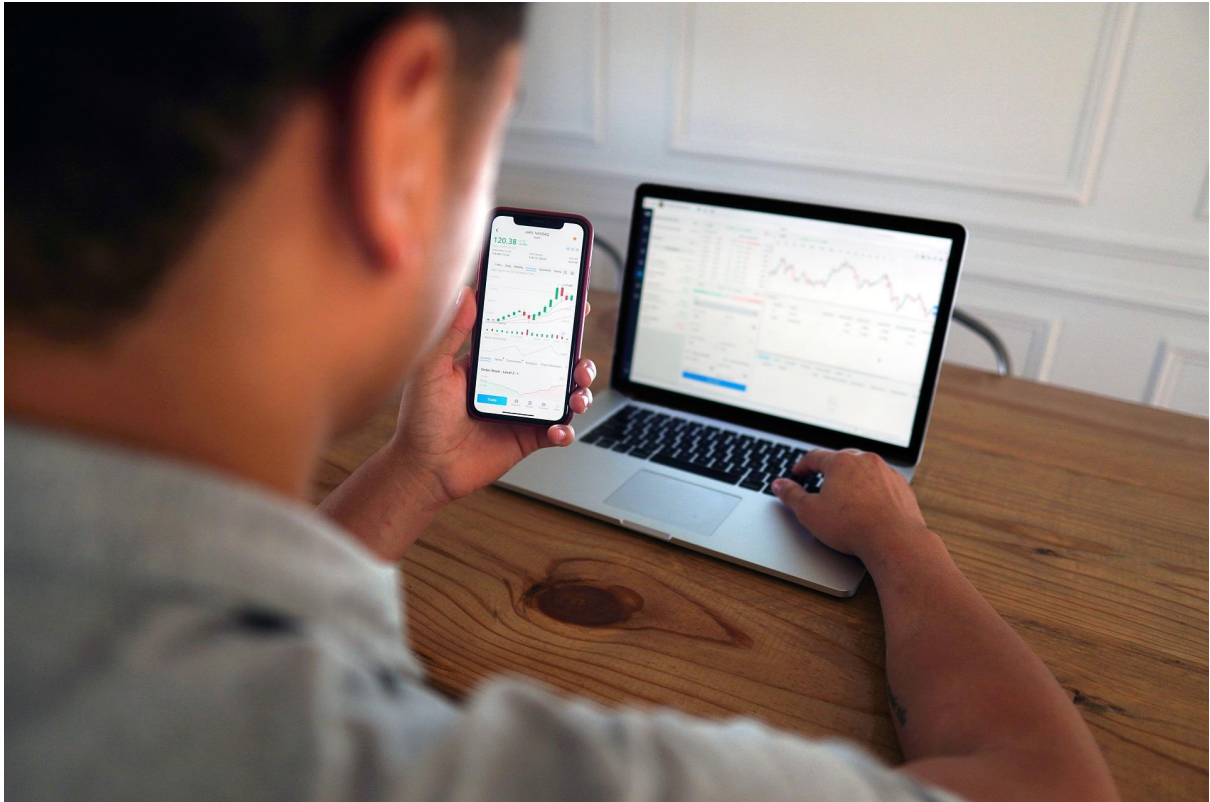
このような疑問にお答えします。

オルカン(オールカントリー)は、世界中の企業に分散投資できる低コストの投資信託として注目される一方、利回りの変動やどんな人に向いているかが気になる方も多いでしょう。

本記事では、オルカンの基本概要や過去の利回り実績、どんな人に向いているのか、向いていないのかを徹底的に解説します。

オルカンを検討中の方や長期的な資産形成に興味のある方は、ぜひご覧ください。

オルカンとは？基本概要と選ばれる理由



オルカンは、世界中の企業に幅広く分散投資できる投資信託の一つです。

特徴的な仕組みとコストの低さから、初心者～経験者までの投資家に支持されています。

ここでは、[オルカンの基本概要](#)や[選ばれる理由](#)を詳しく解説していきます。

オルカンの正式名称と運用内容

オルカンの正式名称は「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」であり、三菱UFJ国際投信が提供しているインデックス型の投資信託です。

このファンドは、MSCI ACWI(All Country World Index)と呼ばれる指数に連動した運用を目指しています。

MSCI ACWIは先進国から新興国までの株式市場を網羅した世界中の企業に投資する指標で、投資先が自然とグローバルに分散される仕組みです。

- 米国
- 日本
- ヨーロッパ
- 中国
- インド など

上記のような幅広い地域に分散投資をすることでリスクを低減し、世界経済全体の成長を享受することを目的としています。

また、運用は完全にファンドマネージャー任せで個別株を選定する必要がないため、投資初心者でも手軽に始められるのが魅力です。

オルカンが選ばれる理由は「分散投資と低コスト」

オルカンが選ばれる理由は、主に以下2つです。

- 分散投資：約50カ国以上、約2,000社以上の企業に投資する仕組みで、一つの企業や国の経済状況に依存せずに世界全体の成長を取り込めるため、特定の市場リスクを回避できる
- 低コスト：信託報酬(運用管理費用)は年間0.1144%(税込)と低コストであり、長期的な運用で複利効果を最大限に引き出すことが可能。購入手数料が無料のため、投資を始める際のハードルも低い

上記の特徴により、初心者から上級者まで幅広く支持されています。

オルカンの利回り平均はどれくらい？



ここからは、オルカンの利回り平均について、過去の実績や利回りに影響を与える要因、具体的な投資シミュレーションを交えて解説していきます。

過去の運用実績から見る利回り平均

オルカンは過去の運用実績において、比較的安定した利回りを記録しています。

以下は、直近の過去1年、3年、5年の平均利回り(年率)のデータ(引用：[日本経済新聞 ファンド情報](#))です。

- 過去1年間の成長率:32.48%
- 過去3年間の成長率:17.72%
- 過去5年間の成長率:18.73%

上記は世界経済全体の成長を反映しており、分散投資の強みを示しています。

ただし、これらはあくまでも過去の実績であり将来の成長を保証するものではありません。

利回りの変動要因とは？

オルカンの利回りは、以下のような要因によって変動します。

- 世界経済の成長:特に米国市場の影響力が強く、米国株式のパフォーマンスが利回りに大きく反映されます
- 為替変動:円建てで投資する場合、為替の変動が利回りに影響します。円安が進むと外貨建て資産の評価額が高くなり、円建ての利回りが向上します
- 地政学的リスクや市場イベント:世界的なリスク(戦争やパンデミックなど)や大規模な市場イベント(金融政策の変更など)は、短期的に市場全体の変動を引き起こします

【シミュレーション】オルカンに100万円投資した場合

オルカンの過去の成長率をもとに、100万円を投資した場合の資産推移をシミュレーションしてみましょう。

<h4>過去1年間の成長率(32.48%)の場合

- $100\text{万円} \times (1 + 32.48/100) = 1,324,800\text{円}$

過去1年間で32.48%の成長率を記録(引用:[日本経済新聞 ファンド情報](#))しているため、100万円の投資額が「約132万円」に増加します。

<h4>過去3年間の成長率(17.72%)の場合

- $(100\text{万円} \times (1 + 17.72/100)) \times 3\text{年間} = 1,631,363\text{円}$

過去3年間で17.72%の成長率を記録(引用:[日本経済新聞 ファンド情報](#))しているため、100万円の投資額が3年後に「約163万円」に増加します。

<h4>過去5年間の成長率(18.73%)の場合

- $(100\text{万円} \times (1 + 18.73/100)) \times 5\text{年間} = 2,359,404\text{円}$

過去5年間で18.73%の成長率を記録(引用:[日本経済新聞 ファンド情報](#))しているため、100万円の投資額が5年後に「約236万円」に増加します。

上記のシミュレーションからもわかるように、オルカンは長期投資で大きな成長が期待できるファンドといえます。

ただし、実際の運用では利回りが変動する可能性があるため、注意しましょう。

オルカンの利回り平均を最大化するためのポイント



オルカンの利回り平均を最大化するためには、運用の効率を高める方法を取り入れることが重要です。

特に、[安定的な積立投資](#)や[「ドルコスト平均法」を活用](#)することで、長期的な資産形成をより確実なものにできるため、具体的なポイントを解説していきます。

積立投資を活用した安定的な運用

積立投資は定期的に一定額を投資する方法で、オルカンのようなインデックスファンドの運用に適しています。

この手法を活用することで、以下のメリットが得られます。

メリット	補足
リスク分散	市場を気にせず投資を続けるため、購入価格が高い時も低い時も一定額を投資することで平均購入価格の平準化ができ、価格変動リスクを抑えながら長期的な資産成長を目指す
心理的負担の軽減	投資のタイミングを判断する必要がなく、価格の上下に一喜一憂せずに継続的な運用ができる
複利効果の活用	積立投資を長期で続けることで運用益が再投資され、複利効果による資産成長が期待できる

「ドルコスト平均法」の実践

ドルコスト平均法とは「積立投資を一定額ずつ定期的に行うことで、平均購入価格を平準化し、市場の変動リスクを軽減する投資手法」です。

この方法は価格変動の大きい資産に有効で、オルカンのような投資信託にも適しています。

ドルコスト平均法のメリットは、次のとおり。

メリット	補足
価格が安い時に多く買える	市場価格が低い時は同じ投資額で多くの口数を購入できる反面、価格が高い時には少ない口数を購入するため、平均購入価格を抑える効果が期待できる
市場のタイミングに依存しない	市場が好調でも不調でも一定額を投資し続けるため、投資のタイミングを誤るリスクを回避できる
習慣化しやすい	積立投資は自動化しやすく、一度設定すれば定期的に資金が投資されるため、投資を続けやすい環境を作れる

積立投資やドルコスト平均法を取り入れることで、オルカンの利回り平均が最大化でき、より安定した資産形成を目指せるでしょう。

オルカンが向いている人はこんな人



オルカンは、投資初心者から経験者まで幅広い層に支持されています。

ここからは、具体的な特徴などを3つの観点で解説していきます。

長期的な資産形成を目指す人

オルカンとは、世界中の株式市場に分散投資する仕組みを持つため、長期的な資産形成に適した投資信託です。

株式市場は短期的な変動はあるものの、歴史的には右肩上がり成長を続けており、長期運用によりその恩恵を受けられるでしょう。

おすすめの運用方法としては、毎月一定額を積立てることによる「複利効果」を活用しながら着実に資産形成を目指す運用方法です。

分散投資を重視する人

オルカンは全世界の株式市場に投資するファンドで、約50カ国以上、2,000社以上の企業に分散投資しています。

これにより、特定の国や業種に依存するリスクを軽減し、安定的な運用が可能です。

たとえば、アメリカ市場が低迷しても、アジアやヨーロッパの市場が好調であれば、全体的な運用成績が安定する可能性が高まるため、分散投資を重視する方におすすめの投資方法といえるでしょう。

運用の手間をかけたくない人

オルカンはファンドマネージャーが運用を行うインデックスファンドであり、個別株の選定や市場の動向を頻繁にチェックする必要がありません。

また、信託報酬が低く、手数料面でも優れたコストパフォーマンスを誇ります。積立設定を行うことで初心者でも簡単に始められ、日々の管理が不要な点が魅力です。

これらの特長から、投資に多くの時間を割けない忙しい方や手軽に資産運用を始めたい方に向いているといえるでしょう。

オルカンが向いていない人はこんな人



オルカンは多くの投資家に支持されるファンドですが、すべての投資スタイルやニーズに適しているわけではありません。

ここからは、オルカンが向いていない人の特徴などを3つの観点で解説していきます。

短期的に大きな利益を狙いたい人

オルカンは世界全体に分散投資するため、リスクを抑えながら安定した成長を目指す商品であり、短期間で大きなリターンを狙う投資には不向きです。

株式市場全体の動向に連動するため、急激な値上がりは期待しにくく、短期的な利益を目指す場合は、値動きが大きい個別株や特定のテーマ型ファンドの方が適しているといえるでしょう。

特定の国やセクターに集中投資したい人

オルカンは分散投資が特徴であり、特定の国やセクター（例：ITやエネルギー）に重点を置きたい人には向きません。

世界全体に投資をするため、特定のエリアや分野が好調な場合でも、その影響が薄まる場合があります。

たとえば、「米国市場だけに投資したい」や「ITセクターに集中したい」という希望がある場合は、オルカンよりも他の投資信託やETFを検討するのが良いでしょう。

リスクを完全に避けたい人

オルカンは株式を主体とする投資信託であり、価格変動リスクを完全に避けることはできません。

市場全体が下落する場合には元本割れの可能性もあるため、「リスクを完全に回避したい」という方には適していません。

リスクを可能な限り抑えたい方は、債券型ファンドや元本保証型の商品（例：個人向け国債や定期預金など）を検討する方が良いでしょう。

オルカンは分散投資や長期的な資産形成を目指す方に適していますが、短期的なリターンや集中投資、リスク回避を重視する方には必ずしも最適とはいえません。

それぞれの投資目的やリスク許容度に応じて、他の選択肢を検討するのも一つの手段です。

LENDEXの融資型クラウドファンディングは「元本割れゼロ」でリスクヘッジも可能



投資のリスクを抑えながら資産運用を行いたい方に注目されているのが、[LENDEX](#)の提供する「融資型クラウドファンディング」です。

この投資手法は、元本割れのリスクを抑えつつ、安定的なリターンを得られるため、リスクヘッジを重視する方に適しています。

LENDEXの特徴は、次のとおり。

- 2018年に始まった融資型クラウドファンディングのサービス
- 平均利回りは「7.09%」と業界最高水準
- 元本割れゼロの運用実績
- 口座開設費用、出金時の手数料は無料 など

リスクを抑えたうえで高利回りの投資を始めたい方は、[公式サイト](#)から無料で口座開設をしてみましょう。

オルカンに関するよくある質問や疑問

オルカンに関して、多くの人が疑問に感じるポイントを解説していきます。

オルカンの利回り平均はどの程度安定している？

オルカンの利回りは、過去の運用実績から見ると比較的安定しています。以下は過去の平均利回りの一例(引用: [日本経済新聞 ファンド情報](#))です。

- 過去1年間の成長率: 32.48%
- 過去3年間の成長率: 17.72%
- 過去5年間の成長率: 18.73%

上記は、世界中の株式市場に分散投資するオルカンの特性を反映しています。

ただし、株式市場の性質上、短期的には利回りが大きく変動することもあるため、オルカンは長期投資に適した商品といえるでしょう。

オルカンを始めするために必要な初期費用は？

オルカンを始めための初期費用は、次のとおり。

- 最低投資額: 100円から購入可能
- 購入手数料: 無料
- 信託報酬(運用管理費用): 年率0.1144%(税込)

上記により、投資初心者でも手軽に始められる点が特徴です。

NISA(少額投資非課税制度)やつみたてNISAを利用することで、税制優遇を受けながら運用することも良いでしょう。

なぜオルカンは人気があるの？

オルカンが人気な理由は、次のとおり。

- 世界全体に分散投資できる(約50カ国、2,000以上の企業)
- 低コストで運用できる(信託報酬: 年率0.1144%(税込))
- 投資初心者でも運用しやすい
- 長期的な成長が期待できる など

オルカンは少額から始められる手軽さと低コストで世界全体に分散投資できるなどの特徴から、多くの投資家に支持されています。

長期的な資産形成を目指す方や手間をかけずに安定した運用をしたい方におすすめといえるでしょう。

長期的な投資でオルカンの利回り平均を高めよう

長期的な視点で運用することは、オルカンの利回り平均を高める重要なポイントです。

短期的な市場変動に一喜一憂するのではなく、長期的な成長を信じて投資を継続することが成功の鍵といえます。

オルカンを活用して利回りを最大化するためには、積立投資やドルコスト平均法を取り入れるのがおすすめです。また、リスクを抑えた安定的な運用を目指すために、低コストで分散投資を実現できるオルカンは非常に適した選択肢といえるでしょう。

本記事で紹介した内容を参考に、自分に合った運用方法を見つけてください。

より高い利回りを目指したい場合は、[LENDEXの融資型クラウドファンディング](#)のような選択肢も検討してみてくださいね。

参考リンク一覧

- <https://www.toushikiso.com/blog/toushin/emaxis-slim-all-country.html>
- <https://www.nikkei.com/nkd/fund/performance/?fcode=0331418A>
- <https://cocozas.jp/coco-the-style/orukan-osusumeshinai/>
- <https://www.bridge-salon.jp/money/tousin-etf/all-country-decades-simulation/>